

図書館だより

No.90 July, 2017



テクノネット久留米 2017 事業

テクノネット久留米
文庫始めます。

購入図書募集

7/14
締切



目次

読書のすすめ

人生は自分が触れたものになる	材料システム工学科 小袋 由貴	1
自分自身との対話	一般科目（文科系） 小林 美恵子	2
教員推薦図書	教員 5名	3
私の一冊	各学科学生 6名	5
平成28年度図書館利用状況		6
Information 編集後記		7

読書のすすめ

人生は自分が触れたものになる



材料システム工学科 小袋 由貴

皆さん、はじめまして。本年度より材料システム工学科の教員となりました、小袋由貴です。今回、図書館だよりの“読書のすすめ”を担当させていただきます。これまで私の触れてきた本について、筆に任せて書いてみようと思います。

■ 本を読むのは好きですか？

子どもの頃から、私は本に親しんできました。通った小学校の図書室では、年間の貸出し冊数に応じて「ポップ・ステップ・ジャンプ賞」というものがあり、ジャンプ賞(100冊以上)を目指して、友人と毎日図書館に通いました(受賞できたかどうかは覚えていませんが)。絵本「7つ子ねずみ」や植物図鑑、伝記、ドラえものの学習まんがに始まり、ハリリー・ポッターやダレン・シャン、シャーロック・ホームズなどのファンタジー小説を夢中になって読みました。物語の世界観を想像して楽しむことができるファンタジーは、大人になった今でもワクワクします。最近は、「魔性の子 十二国記シリーズ(小野不由美・新潮社)」や「烏に単は似合わない 八咫鳥シリーズ(阿部智里・文藝春秋)」などを読み始めたらとても面白くて、大人買いしてしまいました。

私にとって本は、娯楽であり、専門家の英知の結晶であり、そして“人生の相談室”のようなものです。自分のこと、他人のこと、将来のこと…様々な悩みに直面しては、図書館に足を運び、本を通して色々な人の考え方や生き方に触れています。例えば、一流と呼ばれる人は、何を考えて、どう乗り越えてきたのか。そんなことが気にかかり、松井秀喜(不動心・新潮新書)や羽生善治(直感力・PHP新書)の著書を手に取りました。司馬遼太郎の作品を読むと、力強く前向きな生き方に憧れます。吉田松陰の強烈な生き様に心を揺さぶられ、実際に松下村塾を訪ねたこともあり(世に棲む日日)。近ごろは、宮本常一が綴った「民俗学の旅」に感銘を受けて、民俗学に興味を持ったり、落語家・立川談春のエッセイ「赤めだか」を読んで落語を聞き始めました。

私は、読書がどこで役に立つかわからないけれど、きつと読んだ本の分だけ豊かな自分になれると思っています。最後に、本好きが増えるように、私からおすすめを3冊ご紹介いたします。

■ 気楽に読んでみませんか

「ヒヨコノアルキカタ(あさのますみ・KADOKAWAメディアファクトリー)」

子どもの頃に思ったこと、大人になって感じたこと「はじめて」をテーマにしたエッセイです。日常の何気ない一瞬を、写真のように切り取って言葉にする、著者のセンスに惹かれます。幼少期の貧乏生活や両親・祖父母との思い出話は、微笑ましくも切ない、けれど最後には温かい気持ちになれる話です。表紙のヒヨコにも癒されて、疲れたら、また読み返したくなる一冊です。



「そして生活はつづく(星野源・文春文庫)」

携帯電話の料金を払い忘れる、部屋が荒れ放題、人付き合いが苦手、など星野源の人間らしい一面に、読みながら笑ってしまいます。普段読書をしない人でも、さらっと楽しく読めると思います。くだらない話をテキトウに書いたような文章の中にも、彼らしい考え方や哲学を垣間見る気がします。



「魔法のことば(星野道夫・文春文庫)」

帯文—彼は本当に大事なことが言わなかった。そして本当に大事なことは何度でも言った—に魅かれて購入しました。アラスカに生きる動物や大自然を撮りつづけた星野道夫が、若者や都市で生きる人に向けて語りかけた講演集です。彼の声の響きを正しく耳に蘇らせるには、ちょっと工夫が必要。ということで、私もゆっくり、ひとつずつ時間をかけて読んでいます。



読書のすすめ

自分自身との対話



一般科目（文科系） 小林 美恵子

本を読むことで得られる副産物はいろいろあるといわれる。語彙が増える(らしい)、感情が豊かになる(らしい)、智慧が身につく(らしい)…。が、読むことは本来娯楽なのだ。その楽しみを知らないのは何とも惜しまれる。現実を離れ、異次元に入り込み、別の自分になって過ごす時間のなんと豊かでエキサイティングなことよ。読書をすすめる理由は、この興奮を味わってほしいからの一点に尽きる。酒に酔う以上の喜びがここにある。

それでも「読書なんて無理」という人は、形から入ってみるのもいい。電車の中で、ゲームをしている人と読書をしている人と、どちらが魅力的に見えるかは一目瞭然だ。試しに『人間失格』の文庫本なんぞをアクセサリーとして片手に持ち、駅に佇んでみよう。とたんに知的学生の装いが身につく。暇にまかせて置けばとページを開けば、太宰ワールドとの出会いが待っているかもしれない。

読書には、気持ちを落ち着かせる効果も大きい。精神的にタフな人の生活にはたいてい読書がある。本によって慰撫され、励まされ、肯定されるからだ。本には無数の人物が登場する。みな、実に自分勝手だ。それらを一人一人読んでいけば、つまるところ、自分だって自分のままでいいのだ、という揺るぎない自信を得ることになる。

慌ただしく、何をしてもうまくいかない一日の終わりにには、お気に入りの本を手にとるといいそうだ。活字を目で追い、ページをめくるといった一定のリズムが、自分本来のテンポを取り戻させてくれる。

何をしてもつまらない、将来の目標が定まらない、などという人にも、読書が必要だ。

一冊の本を読み終えた後は、読む前とは周囲の見え方が違ってくる。それはそうだ。本の中で大統領になったり、アイドルになったり、死刑囚になったりするのだから。本を読むと、世の中に自分の知らない世界がたくさんあることに気づかされる。そして、社会と

いうものが、それぞれのストーリーを背負った人々が交錯することで成り立っていることに目を向けずにはいられなくなる。このような変化は、すなわち大人に一步近づくということではないだろうか。自分の周囲半径3メートルくらいにしか目が届かないうちは、生きる喜びも訪れない。

このような読書のメリットは、テレビでも映画でも、ネットでも代替可能に思われる。が、視覚でわかりやすく手渡されるものには、自分の想像力を発揮する余地が残されていない。それを見た多くの人々と同じものを受け取って終わることになる。面白さを大勢で共有することにも醍醐味があろうが、それは読書の楽しみとは別のものだろう。

本を読むということは、本と自分との間に、もっとひそやかに個人的な、それだけに濃厚な絆を生ぜしめる。たとえるならば、一冊の本と密室にこもるようなものだ。そこで私たちは描かれた世界に自分の記憶や経験を重ね合わせ、その作品を自分だけのものに作り直していく。「山々」とあれば、自分の故郷の山を思い描く。「母」とあれば自分の母を重ね合わせて読む。主人公が挫折を味わえば、自分の過去の挫折と比較したり、重ね合わせたりしながら、その人物が這い上がっていく過程に同行する。このような作業は、まぎれもなく自分との対話といえよう。他者とのコミュニケーションも大事だが、自分との対話の場を作ってくれるのは、読書をおいてほかにない。

平均寿命が延びゆく中、皆さんの多くは百歳まで生きるのではないだろうか。読書によって自分と向き合い、揺らがぬ自分を作っておくことも、有効な自己投資となるに違いない。

「ためになりそうな本」なんかでなくていい。『走れメロス』でも『赤毛のアン』でもいい。『ごんぎつね』だっていいではないか。本を、読もう。

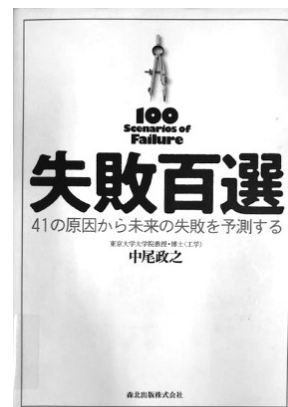
教員推薦図書

中尾 政之 著

失敗百選: 41の原因から未来の失敗を予測する (森北出版)

機械工学科 渡邊 悠太 助教
【図書館所蔵情報：504 || N || 32】

「私は失敗したことがない。ただ、1万通りの、うまく行かない方法を見つけただけだ。」とは発明王エジソンの言葉だが、1万通りを自分で試すのではなく歴史に学ぶのが賢い選択である。本著は以前の図書館だよりで紹介した「続々・失敗百選」と同じ失敗百選シリーズの第一作。シリーズはじめということもあり、工学を語る上で歴史上欠かせない重大事故てんこ盛りの内容となっている。失敗に至った原因ごとに整理され、幾つかの類似事例とともに紹介されているので、失敗に至る過程を学び自身の学業や研究、その他様々な取り組みの転ばぬ先の杖として活用してほしい。



P.F.ドラッカー 著

仕事の哲学 (ダイヤモンド社)

電気電子工学科 掛橋 英典 教授

P.F.ドラッカーはビジネス界で有名な思想家でマネジメントに関する数多くの著書を残しています。その理論・体系を理解するのは容易ではありませんが要点だけをまとめたドラッカー格言集(全4冊)が出版されています。その中の一冊がこの本で、内容が平易であるとともに学生から社会人まで日常生活の指針を与えるものとして役に立ちそうな気がします。例えば、就活中の学生については「何をしたら良いかではなく、自分を使って何をしたいかを考えよ」と述べ、また社会人となって成果をあげるためには「実践的な能力を積み重ねよ。普通の人であれば実践的な能力は身につけられる」と説いています。考えさせられる本です。

若林 正恭 著

社会人大学 人見知り学部 卒業見込 (角川文庫)

制御情報工学科 綾部 隆 教授

困った。ここ5～6年、本を読んでいない。妻に「何か面白い本ある？」と聞いたら、この本を渡してくれた。「若林正恭？ ああ、オードリーのネズミ顔で神経質そうな人か(オイ!)」と読み始めると、やはり「面倒な人だなあ」と感じた。しかし、読み進むうちに惹かれていって一気に読み終わった。20代の売れない芸人時代を経た人ならではの説得力ある言葉が光る。おじいちゃん言葉を借りた「この世には存在する理由が二つあって、一つは何かをしているから存在していいこと。二つ目は生まれてきたら、なんの理由も無くこの世界に存在していいこと。」が印象的だった。

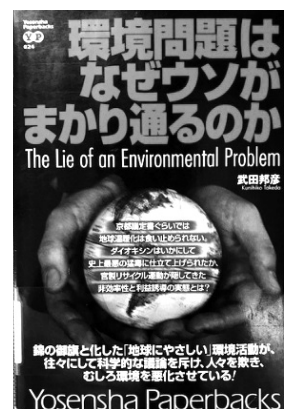
武田 邦彦 著

環境問題はなぜウソがまかり通るのか (洋泉社)

生物応用化学科 笈木 宏和 准教授

【図書館所蔵情報：410 || B || 58】

高専生は将来、技術者を目指す人が多いと思うが、技術者は多面的な視野が必要であると私は考える。子供のころの常識も、とらえ方により大きく価値観が変わる。今回取り上げたこの本は、これまでの環境問題の常識とは逆のアプローチで解説している。個人的な意見としては、作者とは認識を異とする部分が散見するが、ビジネスとして環境問題を見た興味深い本となっていると思う。クライメートゲート事件のように、世界中で報道されているのに日本では報道されない例などもある。本を読むにあたり、自分の糧になると同時に、一人の作者の意見に流されず、自分なりの意見を持てるような人間になってほしい。



マイケル・D・フェイヤー 著 丑田 公規・吉信 淳 訳

絶対微小 ～日常生活を量子論で理解する～ (化学同人)

一般科目 (理科系) 酒井 健 教授

「なぜサクランボは赤く、ブルーベリーは青いか？」このような日常においてごく当たり前の事に対して、私はこの本を読むまで疑問に思ったこともありませんでした。

この本「絶対微小」では、日常生活における色や電気的性質などの身の回りの世界を、量子論に基づいて、より深く理解することを体験できるような構成になっています。また、説明は高度な数学を使わずに書かれていますから、難しい数式がいっぱいある物理が嫌いな人でもとても読みやすい本です。この本を読んだ後は人生観や自然観が変わり、生活がもっと面白くなるかもしれませんよ。おすすめの1冊です。



私の一冊



東野 圭吾 著
白夜行

(集英社)

この作品は、大阪の廃墟ビルで起こったある殺人事件から始まる。取り調べを受ける多くの関係者が、それぞれに疑惑につながる秘密を持っており、捜査が進まないにも関わらず、物語が淡々と進んでいくのがこの作品の特徴とも言える。そして、巧みに張り巡らされ、最後に見事に回収される伏線は、多くの推理小説ファンを唸らせ、東野圭吾の傑作の一つとして言われる由縁である。ページ数が多い本ではあるが、読み終えた時には達成感を味わうことができるだろう。

(機械工学科4年 野坂 亮制)

山田 真哉 著
問題です。2000円の弁当を3秒で「安い!」と思わせなさい

(小学館)

この本は「会計」の本なのですが、あまり馴染みのない人も多いのではないのでしょうか。前半では、身近なお金のカラクリなど、少し日常が豊かになる会計学の考え方、後半では「決算書」の読み方など会計の基礎知識を扱っています。ここで文中の問題を1つ紹介しましょう。

「客単価5万円の高級料亭が、昼に1000円の定食をはじめました。その理由とは?」答えは、「日々の現金収入を得るため」なのですが、この本では「キャッシュフロー」という考え方を使って説明しています。イラストも織り交ぜてあって読みやすい本なのでぜひ読んでみてください。

(生物応用化学科3年 山田 光洋)

筒井 康隆 著
旅のラゴス

(新潮社)

ページをめくるごとに、自分が主人公ラゴスに成り代わって旅をしているような感覚になり、ついつい読み耽ってしまいました。突然高度な文明を失い、その代償として人々が集団転移・壁ぬけなどの超能力を獲得した世界で、各地を転々と旅するラゴス。ラゴスの旅は山あり谷ありで、二度にわたって奴隷に身を落とされてしまうこともあります。そんな苦難にあいながらも、ラゴスはその生涯を通して、旅を続けます。ひたすら旅を続ける理由は何なのか?旅の先に何を見ようとするのか?世界の人のありようを見ながら、延々と何かを探し続けるラゴスという旅人の生き方に、一度触れてみてはいかがでしょうか?

(電気電子工学科3年 山下 勇人)

逸木 裕 著
虹を待つ彼女

(株式会社KADOKAWA)

人工知能と恋愛ができるアプリの優秀な研究者であった主人公工藤賢は、その優秀さ故に自分の限界を感じていた。そんなとき新しく開発を始めたのは死者を人工知能化することだった。試作品のモデルとして選ばれたのは、六年前自作のゾンビを撃ち殺すオンラインゲームとドローンを連携させて、劇場型自殺を行った水科晴という女性だった。晴の調査をしていく中で、工藤は謎の人物から脅迫を受けるも、昔の恋人である「雨」という人物に辿り着く。晴の遺した未発表のゲームの中に彼女に迫るヒントを見つけ、人工知能は完成に近づくが…。

(材料工学科4年 前間 彩乃)

森見 登美彦 著
ペンギン・ハイウェイ

(角川書店)



自分が人間でないと気付いた時、何を思い、どのように行動し、何を守ろうとするのでしょうか?

この作品の舞台は勤勉な小学四年生のアオヤマ君が住む閑静な住宅街です。甘いお菓子の詰め合わせのようなかわいらしい街に突然ペンギンの群れが現れる所から物語が動きはじめます。アオヤマ君は親友のウチダ君と学校のとなりの水路をたどるプロジェクトに忙しいですが、

歯科医のお姉さんのためにペンギンの謎を解こうとします。梅雨入りした今の時期にぴったりのさわやかな作品です。あなたもコココーラの缶を青空に向かって投げ、自分が人間かどうか試してみませんか?

(制御情報工学科4年 鈴山 夏)
【図書館所蔵情報】913 || M || 212

根本 健 著
図解 ライテク上達虎の巻
ビッグバイク乗りこなし編 (株式会社柘出版社)



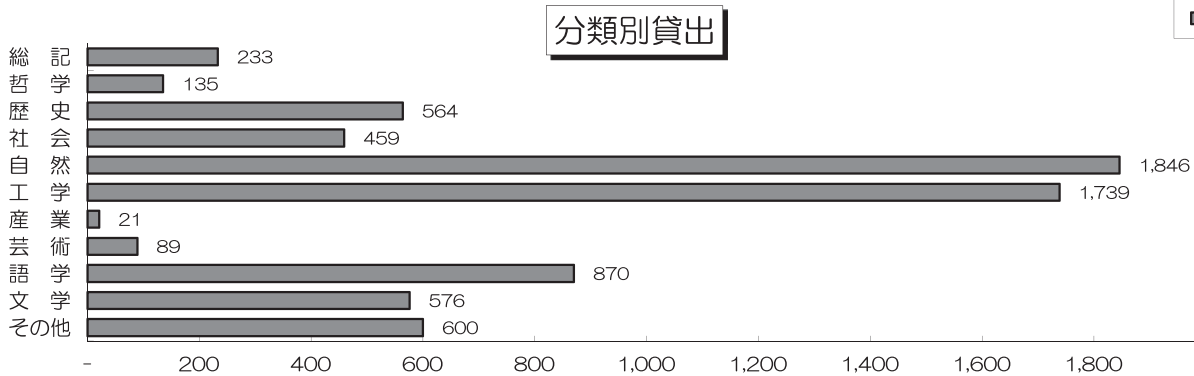
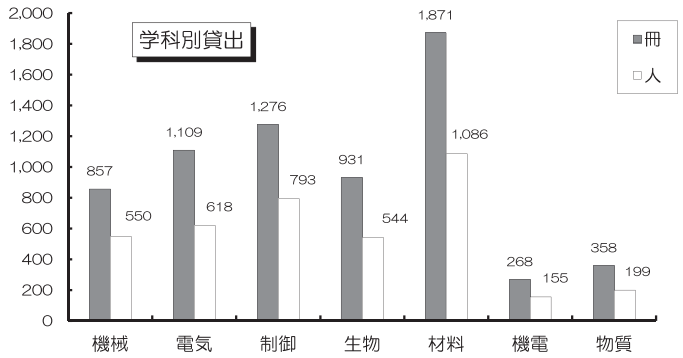
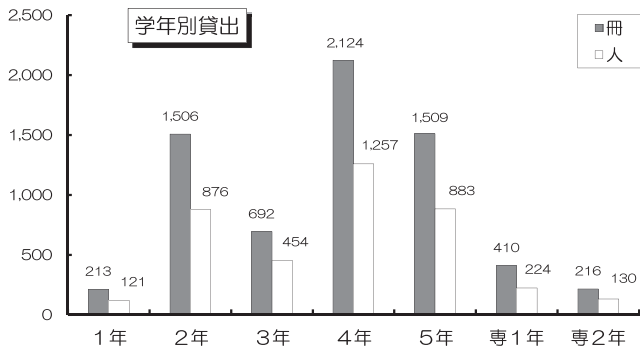
バイクは楽しい。カスタムをしたりツーリングをしたり、お金はかかるがそれだけの価値があるものだ。とはいえ、はじめはただ走るだけで楽しかったものでもいつかは飽きるもので、苦勞して手に入れたバイクをすぐに手放してしまう人もいます。この本は、そんなバイクに飽きてしまった人にこそ読んでほしいのだ。バイクの一番の楽しさは、コーナリングにあると私は考えている。この本にはそのコーナリングを安全に楽しむための心得やテクニクが詳しく載っていて、それらはビッグバイクに限った話ではなく、原付にすら通用する話なのだ。バイクを手放す前に、この本を手に取り、是非バイクの本当の楽しさを知ってほしい。

(物質工学専攻1年 山本 裕晴)
【図書館所蔵情報】537 || Z-N || 2

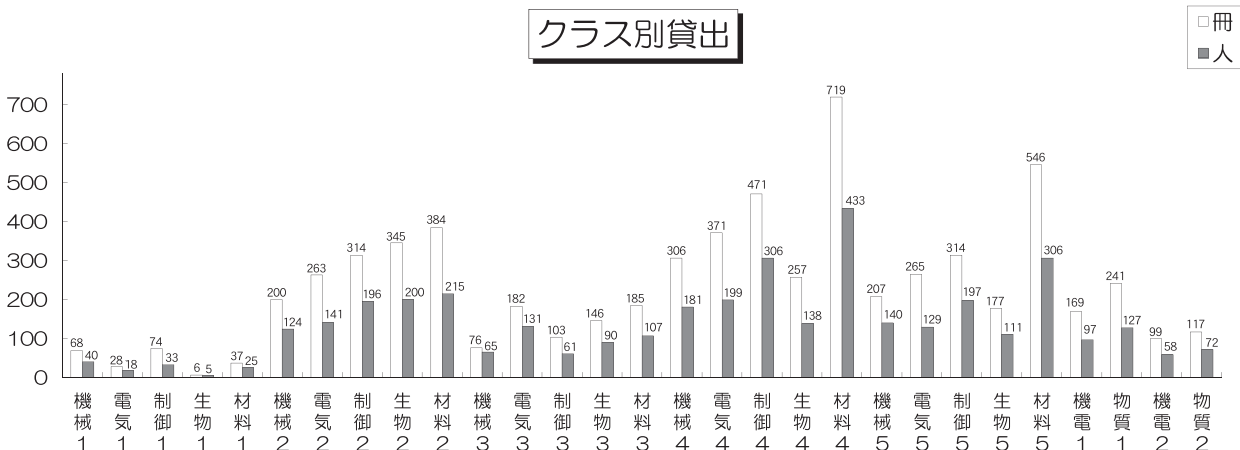
平成28年度 図書館利用状況

◆開館日数及び入館者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数		22	23	24	21	20	24	25	22	21	20	22	24	268	
入館者数	平日	時間内	2,954	3,335	3,623	2,963	2,089	2,940	2,316	2,633	2,009	2,483	2,679	1,245	31,269
		時間外	434	834	900	387	0	713	521	981	363	908	681	87	6,809
	土曜日	50	213	144	42	0	327	117	78	107	66	117	36	1,297	
	合計	3,438	4,382	4,667	3,392	2,089	3,980	2,954	3,692	2,479	3,457	3,477	1,368	39,375	
一般利用者数 (内数)		11	5	35	25	26	73	33	9	1	5	4	10	237	
一日平均入館者数 (四捨五入)		156	191	194	162	104	166	118	168	118	173	158	57	147	



※ 分類別貸出冊数には、教職員及び一般利用者貸出冊数を含む。



information

夏季休業中の、開館時間の変更及び臨時閉館にはご注意ください。



◆ 特別(長期)貸出について

特別(長期)貸出を下記のとおり行います。

- ・貸出期間 : 7月 7日(金) から
8月17日(木) まで
- ・返却期日 : 9月 1日(金)
- ・貸出冊数 : 5冊以内

◆ 開館時間の変更及び休館日について

夏季休業期間中は、下記のとおりです。

- ・月曜日～金曜日は、9時から17時まで開館
- ・土、日曜、祝日及び8/11、8/21、8/25、
8/28は休館です。

※一般利用者及び教職員は通常貸出です。



◆◆ 図書館からのお願い ◆◆

- ・図書は返却日までに返却してください。
- ・閲覧室での飲食は禁止です。
- ・閲覧室内での携帯電話の使用できません。
- ・閲覧室内での騒がしい行為・会話は禁止です。

《編集後記》

この号が届くころには、じめっとした梅雨も明け、待望の夏休みが迫ってきていると思います。

今回から編集後記の担当が変わりました。最近の読書のペースも少し落ちていますが、読書の楽しみを伝えていけたらと思います。

さて、夏休みは何をして過ごしますか？読書三昧という人は図書館で本を読み漁るのも格別です。久留米高専の図書館もいいのですが、百道にある福岡県立図書館もおすすめです。多くの蔵書だけでなく、

DVD等の所蔵数も圧倒的です。古い本から最新の本まで堪能でき、充実した一日を過ごせること請け合いです。

特にお勧めは併設する映画館「キネラ」での名作映画の安価な上映(学生500円)です。DVDレンタルできるものも多いですが、スクリーンでの閲覧は格別です。夏休みは木下恵介や小津安二郎などの名監督作品の上映もありますので、文学好きは顔を出してみてもはどうでしょうか？

(編集委員長 笈木 宏和)

発行日：平成29年7月10日

発行・編集：久留米工業高等専門学校図書館 Tel：0942-35-9306
〒830-8555 久留米市小森野一丁目1番1号
E-mail：L-staff.SAD@ON.kurume-nct.ac.jp